

職場におけるジェンダー平等推進事業 (鹿児島県女性活躍推進事業) 【鹿児島県】

総事業費	7,218 千円
交付金額	3,609 千円

地域の実情と課題

平成28年度に実施した企業実態調査によると、県内の事業所においては、女性の管理職を特に増やす考えはないという経営者が半数を占めており、女性従業員が少数であること、必要な知識・経験・判断力を有する適任者がいないこと、女性従業員の勤務年数が短いことなどをその理由に挙げている。

一方で、女性従業員も、自分の能力に自信が持てないことや責任が重くなることなどへの懸念から、その半数が管理職に就くことを希望していない状況にある。これは、子育て期における就業の中断が女性のキャリア形成の妨げとなり、また、職場で経験や知識を蓄積していないこと、仕事と家庭生活の両立の困難さ等が女性自身の意欲の低下につながっているものと考えられる。

未だに男性中心型労働慣行等の企業風土は根強くあり、経営者及び管理職の意識改革を図るとともに、女性の意欲の向上や能力開発の支援に取り組む必要がある。

事業の特徴

- 鹿児島県女性活躍推進会議や女性ワーキンググループにおいて協議された、企業や働く女性の立場からの意見を事業に反映させることにより、当県の実情に応じた取組の効果的な推進が期待できる。

事業の効果

- 多様な人材の確保による新たな価値創造など女性活躍・ジェンダー平等推進で得られる企業経営上のプラス効果の観点から講演・研修を行うことにより、県内事業の経営者や管理職等に理解を広めることができた。

目的・目標

鹿児島県女性活躍推進計画に基づき、企業トップや管理職等の意識改革や女性の意欲の向上及び能力開発の支援等を通じて女性が活躍できる環境づくりを推進する。

	【目標値】	【現状値】
○ 女性活躍推進宣言企業登録数	275社(R9)	150社(R4)
○ 事業所における管理的地位(課長相当職)に占める女性の割合	18%(R9)	16.2%(R1)

連携団体

- 鹿児島県女性活躍推進会議

【構成団体】

鹿児島県経営者協会／鹿児島県商工会議所連合会／鹿児島県商工会連合会／鹿児島経済同友会／鹿児島県中小企業団体中央会／鹿児島県農業協同組合中央会／鹿児島県漁業協同組合連合会／鹿児島県森林組合連合会／鹿児島大学／鹿児島労働局／鹿児島県市長会／鹿児島県町村会／鹿児島県／女性ワーキンググループ

今後の課題

当県においては、鹿児島県女性活躍推進計画に基づき、女性の活躍推進に向けた取組を進めているところであるが、男性中心型労働慣行等の企業風土は根強く、女性の活躍推進のためには、経営者及び管理職の意識改革が重要である。

また、男女がともに働きやすい職場づくりに向けた企業向けの支援を継続するとともに、先進的企業の更なる見える化を進める必要がある。

職場におけるジェンダー平等推進事業①

企業向け

○鹿児島県女性活躍推進会議の運営

働く場における女性の活躍を推進するためには、事業所の取組が不可欠であることから、経済団体や行政等が連携する「鹿児島県女性活躍推進会議」の協議・活動を通じて県内の女性活躍の取組の促進を図った。

令和4年度は、女性活躍及び支援策に関する協議や、女性ワーキンググループの活動報告、知事表彰候補企業の選考を行った。

日時: 令和4年10月21日(金)

【議題】

- ・鹿児島県の女性活躍推進に向けた取組について
- ・女性ワーキンググループの活動について
- ・令和4年度県女性活躍推進優良企業知事表彰候補企業について



鹿児島県女性活躍推進会議

女性がその個性と能力を十分に発揮して活躍し、男女がともに安心して生き生きと働くことができる「鹿児島」の実現を目指し、多様な主体が連携して本県における女性活躍の取組を加速化するため、平成28年6月24日に「鹿児島県女性活躍推進会議」を設立しました。同会議と連携し、県内の好事例や情報の共有を図り、気運醸成に取り組んでいます。

経済団体

鹿児島県商工会議所連合会、鹿児島県商工会連合会、鹿児島県経済同友会、鹿児島県経営者協会、鹿児島県中小企業団体中央会

農林水産関係団体

鹿児島県農業協同組合中央会、鹿児島県漁業協同組合連合会、鹿児島県森林組合連合会

多様な主体による連携体制

行政機関

鹿児島県市長会、鹿児島県町村会、鹿児島県

女性ワーキンググループ

広く各分野で働く女性で構成

関係機関

鹿児島大学、鹿児島労働局

○企業におけるジェンダー平等推進フォーラムの開催

職場におけるジェンダー平等の実現に向けて、企業トップ等の意識改革を図るためのフォーラムを開催した。

日時: 令和4年11月22日(火)

参加者: 48人(オンライン開催)

【内容】

- ・基調講演
「ジェンダーギャップを乗り越える『100人100通り』の働き方」
講師: 青野 慶久氏(株式会社サイボウズ代表取締役社長)

職場におけるジェンダー平等推進フォーラム
、オンライン/

企業トップから学ぶ「ジェンダー平等」と「企業経営の関係」

演題 「ジェンダーギャップを乗り越える『100人100通り』の働き方」

申込締切
令和4年
11月18日
金曜日

内容 講演会・質疑 (直接質問できるこの機会をご活用ください)

日時 令和4年11月22日(火) 14:00~15:50 (予定)

定員 100名程度 対象 企業等の経営層、管理職、人事担当者など 会場 オンライン (Zoom) 開催

講師 青野 慶久さん (サイボウズ代表取締役社長)

1971年生まれ、鹿児島県今治市出身。大阪大学工学部情報システム工学科卒業後、松下電工(現 パナソニック)を経て、1997年8月鹿児島県松山市でサイボウズを設立。2005年4月代表取締役社長に就任。

社内のワークスタイル変革を推進し、最高で28%あった離職率を大幅に低減するとともに、3児の父として3度の育児休暇を取得。また2011年から事業のクラウド化を進め、2020年にクラウド事業の売上が全体の75%を超えるまで成長。総務省、厚労省、経産省、内閣府、内閣官房の働き方変革プロジェクトの外部アドバイザーを歴任し、SAJ(一般社団法人ソフトウェア協会)筆頭副会長を務める。

著書に『ちよいてキ』(文春新書)、『チームのごとだけ、考えた。』(ダイヤモンド社)、『会社というモンスターが、僕たちを不幸にしているのかもしれない。』(PHP研究所)、監修に『わがまま』がチームを強くする。』(朝日新聞出版)がある。



職場におけるジェンダー平等推進事業②

企業向け

○男性の育児介護休業取得促進セミナーの開催

誰もがワークライフバランスを実現することができる職場づくりを促進するためのセミナーを開催した。

日時:①理論編 R5.1.25 ②実践編 R5.2.8
場所:鹿児島市国際交流センター・オンライン
参加者:延べ53人(うちオンライン受講28名)

【内容】

- ・講義「男性の育児介護休業取組促進に向けて」
講師・渥美 由喜氏(ダイバーシティ&ワーク・ライフバランスコンサルタント)
- ・事例発表「働き方を見直せば組織はもっと成長する！」
発表者:古志野 純子氏(長岡塗装店 常務取締役)
- ・業務改善ワークショップ
- ・合同コンサルティング



○アドバイザー派遣

経済団体や業界団体等が開催する研修会や企業の社内研修へアドバイザーを派遣するとともに、社会保険労務士が一般事業主行動計画の策定を支援した。

【アドバイザー】

- ・渥美 由喜氏(ダイバーシティ&ワーク・ライフバランスコンサルタント)
- ・たもつ ゆかり氏(オフィスピュア代表)
- ・高崎 恵氏(オフィスピュアワークショップデザイナー)
- ・吉永 亜矢氏(社会保険労務士法人A&Sパートナーズ代表)

【派遣数】

1 団体向け:7団体(243名) 経営層, 管理職, 一般職員など

- ①与論町地域女性団体連絡協議会(R5.1.7) 5人
- ②東市来地域女性団体連絡協議会(R5.1.20) 50人
- ③伊佐市男女共同参画推進協議会(R5.2.14) 50人
- ④和泊町(R5.2.16) 21人
- ⑤知名町商工会女性部(R5.2.16) 15人
- ⑥さつま町(R5.3.5) 20人
- ⑦大島地域人材確保・育成推進協議会(R5.3.6) 61人

2 企業向け 延べ10社 経営層, 管理職, 一般社員など

(1) 社内の意識改革のための研修 9社(286名)

- ①(有)マルタ建設(R5.1.23) 13人
- ②(株)南九州ファミリーマート(R5.1.26) 37人
- ③(株)スズキアリーナ大隅(R5.2.6) 16人
- ④KKB鹿児島放送(R5.2.8) 30人
- ⑤(株)本坊商店(R5.2.10) 21人
- ⑥大隅衛生企業株式会社(R5.3.11) 126人
- ⑦(株)丸久建設(R5.3.16) 10人
- ⑧(株)京セラ 鹿児島川内工場(R5.3.17) 22人
- ⑨(株)そおりサイクルセンター(R5.3.30) 11人

(2) 一般事業主行動計画の策定支援 2社

- ①Farmers Villa Ume
- ②有限会社マルタ建設



職場におけるジェンダー平等推進事業②

○女性活躍推進優良企業知事表彰

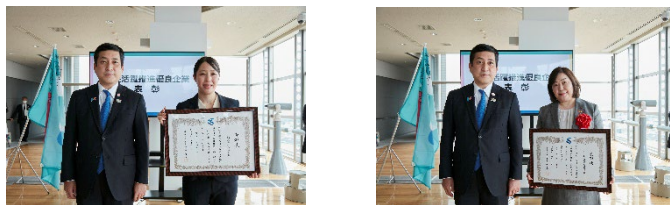
女性活躍推進に積極的に取り組む企業を表彰し、その事例を「ONE STEP2023 優良企業取組事例集」として取りまとめ情報発信した。

【令和4年度表彰企業】

・株式会社ACG



・株式会社鹿児島銀行



「ONE STEP 2023」

～企業の持続可能な成長に向けたジェンダー平等推進の一步～

○発行部数：3,000部

○配布先：県内企業、市町村 等



○ジェンダー平等推進専門家派遣

社内研修の場に、男女共同参画やジェンダー平等に関する基本的知識や必要性等を講義・研修する講師を派遣した。

【アドバイザー】

- ・藤原 千晶氏(株式会社ワークライフシナジー研究所代表取締役)
- ・中村 啓子氏(鹿児島市女性活躍アドバイザー)

【派遣先】

〈意識改革研修〉 2団体

- ①県産業資源循環協会(R4.8.22) 25人
- ②始良市女性活躍推進協議会(R4.12.3) 35人

鹿児島県ジェンダー平等推進専門家派遣事業

職場や研修会に専門家を派遣します!

県では、職場で「ジェンダー平等」や「女性活躍」、「ダイバーシティ」などに取り組む企業や団体等を支援するため、会社や地域が開催する研修会などに専門家を派遣しています。職場におけるジェンダー平等の実現に向けて、ぜひ活用ください。

対象 県内の事業所、経済団体、複数の事業所等で構成された地域の協会会、グループなど

派遣数 8団体程度

研修メニュー例

- ①社内のダイバーシティ推進に向けた意識改革研修、対話の場づくり
- ②女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定支援
- ③制度改善業務の支援（実務担当者へのアドバイス支援含む）
- ④ジェンダー平等推進に向けた多様な働き方に関するアドバイス支援

その他、ご希望の内容をご相談ください。 ※まずはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先 鹿児島県男女共同参画課 鹿児島県ジェンダー平等 専門家派遣 連絡先
TEL : 099-286-2634 MAIL : harmony@pref.kagoshima.lg.jp

～「ジェンダー平等の実現」はSDGsの5番目の目標です～

